

TICAD V 公式サイドイベント

包摂的成長と不平等の克服：
ポスト2015年開発枠組みへの
TICAD Vの貢献



基調講演：

サーリーフ・リベリア共和国大統領
(2011年 ノーベル平和賞受賞者)



2013年5月31日(金) 13:00~14:30

パシフィコ横浜アネックスホール B会場 (F201)

お問い合わせ：(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 03-6859-6867 / horie@savechildren.or.jp (堀江)



TICAD V 公式サイドイベント

包摂的成長と不平等の克服： ポスト 2015 年開発枠組みへの TICAD V の貢献

- 日時■ 2013年5月31日(金) 13:00 - 14:30
- 場所■ パシフィコ横浜アネックスホール B会場 (F201)
(横浜市西区みなとみらい1-1-1)
- 基調講演■ エレン・ジョンソン=サーリーフ氏 (リベリア共和国大統領)
- 登壇者一覧■
 - 香川剛廣氏 (外務省・大臣官房地球規模課題審議官)
 - アフリカ連合委員会 代表者 (※調整中)
 - ペドロ・コンセイソン氏 (国連開発計画アフリカ局チーフエコノミスト兼戦略・アドバイザーユニット長)
 - 世界銀行 代表 (※調整中)
 - デズイレ・アソグバヴィ氏 (オックスファム対アフリカ連合連絡事務所長)
 - 大橋正明 (JANIC 理事長)
- 主催■
 - 「動く→動かす」、(特活) 国際協力 NGO センター (JANIC)、
 - (特活) オックスファム・ジャパン、(公社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- お申込み■

以下のフォームに必要事項をご記入ください。 ※ 締切：5月29日(水) ※
<https://www.janic.org/afom018.php>

■開催趣旨■

ここ数十年のアフリカにおける成長と発展には、国連ミレニアム開発目標 (MDGs) 及び TICAD プロセスの貢献も大きい一方、最も脆弱な立場にいる貧しい人々が経済発展に参加できず、国内格差が拡大する傾向、また MDGs の指標が後退する傾向も見られる。

TICAD V が3つの柱として掲げる、「強固で持続可能な経済」、「包摂的で強靱な社会」、そして「平和と安定」。アフリカの急速な経済成長に注目が集まり、TICAD の議論も民間セクターの投資とそのため環境整備による経済成長の促進に軸足が置かれる中、アフリカが過去の途上国の「経済成長の失敗」を繰り返さずに、真に人々のための発展を勝ち取ることができるかが問われる。

とりわけ、多くの人々が制度的、政治的、社会的な差別によって経済発展のプロセスから排除され、またそのコスト負担を強いられることで、成長が格差の拡大につながり、社会を不安定化させるリスクをどのように回避すべきか。人々の権利が保障され、経済発展の

利益が最も脆弱な立場にいる貧しい人々へ還元されるような「包摂的成長」を実現できる望ましい政策とはどうあるべきか——TICAD V の成果文書である横浜宣言および横浜行動計画は、この問いに答えを出すことができるのだろうか。

さらに現在、「ポスト 2015 年開発目標」に関する議論が活発化し、2013年9月の国連 MDGs 特別イベントでは政府間交渉の基盤となる国連事務総長の報告書が発表される予定である。この議論の中でも「包摂的成長」や「不平等」はキーワードとして浮上しているが、この策定をめぐる国際的議論に対し、TICAD V はいかに貢献ができるのか。

本セミナーでは、「ポスト 2015 年開発目標に関するハイレベルパネル」の共同議長を務めるエレン・ジョンソン=サーリーフ大統領をはじめ、アフリカの開発と「ポスト 2015 年開発枠組み」の議論に造詣の深い登壇者をお招きし、これらの課題への具体的な対応策の提起を試みたい。